

2026年2月27日



## 「瞬時損傷判定技術の実証実験」 出前授業について -実験には当社の光建材商品が使用されています-

不二サッシ株式会社は、愛知県豊橋市、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立大学法人東京大学、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学及び文化シヤッター株式会社との共同研究「実建物を対象とする瞬時損傷判定技術の実証実験」の一環として、本研究にご協力いただいている愛知県豊橋市立磯辺小学校で、出前授業を実施しました。

\*瞬時損傷判定技術の実証実験では「LED光アラートシステム(開発中)」の実証も行われています。地震の規模や建物の揺れ具合・被害の度合いを瞬時に可視化することにより、校舎等の避難所として使用の可否判断をサポートする情報を防災担当者に提供する仕組みで、2024年10月～2027年3月の期間で実証実験を行っています。なお、本システムのLED部分には当社の光建材商品が使用されています。

### — 出前授業について —

2026年1月14日(水)10時15分、緊急地震速報が校内アナウンスにより流れ、全校児童を対象に避難訓練が始まりました。緊張感の中、児童の皆さんは落ち着いて行動し無事に校庭まで集合しました。その後6年生を対象に「実建物を対象とする瞬時損傷判定技術の実証実験」では、何を目的に、どのようなことを行っているのかを各実験担当者が実物のシステムやセンサーなど公開し説明しました。また、防災科学技術研究所による体験型教育ではVR体験会やミニ振動台の実演、ストローハウス作りなどが行われました。6年生の皆さんが熱心に授業に参加してくれたおかげで、先進的な防災技術の研究と実践的な地域防災教育の融合が実現し、大変貴重な成果を得ることができました。この経験が子供たちの今後の人生に少しでも役に立っていただけることを願っております。

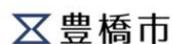
今回、校長先生をはじめ先生方には多大なるご協力に心より感謝申し上げます。



シンボルツリーとLED光アラートシステム



授業の様子 熱心に話を聞く6年生の皆さん



【関連リンク】防災科学技術研究所ホームページ  
<https://www.bosai.go.jp/>

▼お問い合わせ